

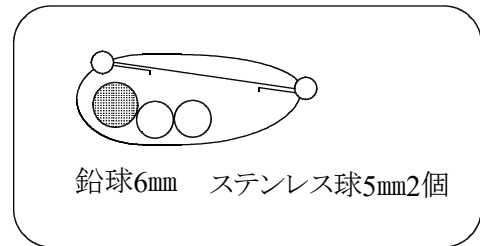
## 「しずく」の作製 ーその2ー

### 1 はじめに

しずくを量産するに当たって更に気づいたことをまとめました。

### 2 ブランクの成形

おもりとワイヤーフレームの位置を図のようにする。



### 3 成形後の浮沈テストと整形

#### (1) 浮沈テスト

ブランク成形後に浮沈テストを行う。

「しずく」は、フック#6をスプリットリング#00と#0で付け、ラインはスナップで付けるという状態で使用する。できるだけゆっくり沈めたいので、これらフック等がないときは浮き、あるときは沈むというのが理想的である。

フック等を付けないと浮き、付けると沈むものを合格とする。

フック等を付けても浮くものは、後の整形で合格するように調整する。

フック等を付けなくても沈むものは、廃棄する。

フック等とは「スプリットリング#00、スプリットリング#0、フック#6、スナップ#000」である。

#### (2) 整形

合格したものは、水を指に付けて形を整える。(軽量粘土が水にとけることを利用する。)

右型・左型の合体部分が凸になっているので、ここを平らにする。

フックを付けても浮くものは、形を整えながらフックを付けると沈む状態になるまで、水で粘土をとかしながら、粘土を均一に削り取っていく。

整形後の乾燥は二晩放置する。

### 4 下地づくり

乾燥後に#1000の紙やすりで表面を磨く。アイのところのバリを丁寧に落とす。

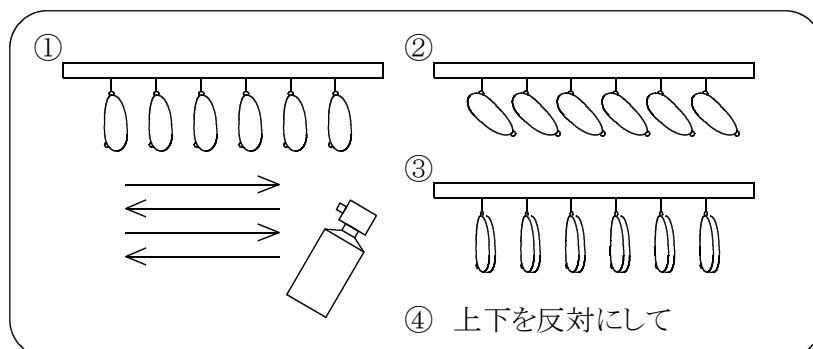
アクリルスプレー(透明)を6回吹き付ける。

①20cmくらい離して2往復する。(アクリルが垂れないことが重要) 裏側も同様にする。乾燥させる。

②上下を反対に吊して同様に行う。

③腹側がスプレーの正面になるように吊して同様に行う。

④ ③の上下を反対に吊して同様に行う。 ⑤ ①と同様に行う ⑥ ④と同様に行う。



乾燥は1時間以上する。  
最終の吹きつけ後は一晩置く。

## 5 下地づくり完成後の浮沈テスト

下地づくりが完成して再度浮沈テストを行った。粘土の削りすぎが原因で、フック等を付けなくても沈むものが一部でてきた。アクリルスプレーの重さにも原因があるかもしれない。この重さの違いはごく僅かであるため、合格品とする。

## 6 着色

着色前に表面を#1000の紙やすりで軽く磨く。

アクリル絵の具で三度塗りを行う。一度塗り・二度塗り後の乾燥は十分に乾いていなくても良い。従って、例えば次のようにする。

すべてのブランクに一度目の塗りをする。二度目の塗りは、一度目の塗りと同じ順序で塗る。他のブランクを塗っている間に乾燥させる。その程度の乾燥時間でよい。三度塗り後の乾燥は、一晩放置する。

<色の調合>

黄緑	黄+緑
桃	赤+白
薄茶	茶+白+黒少々
だいたい	赤+黄
オレンジ	赤:黄=1:2
こげ茶	茶+黒
深緑	緑+黒少し 緑色自体が濃い。乾燥後は塗ったとき以上に黒くなった。

<色むら>

薄茶は少し色むらができる。二度目の塗り後の乾燥でチェックする。三度目塗りで色むらをなくす。アクリルの緑色は色むらができやすい。三度塗り後も色むらが残った。

蛍光ピンクは色むらができやすいが、二度塗りでよい。

蛍光緑は特に色むらができやすい。四度塗りしても色むらが残る。

蛍光緑・蛍光ピンクではマスキングテープの隙間に塗料が入るので、気を付ける必要がある。

## 7 「目」の接着

「目」はパソコンで作る。ブランクに貼ったときのことを考えて、紙は薄めがよい。

インクジェットプリンタでの印刷では、インクが少しにじむ。

レーザープリンタでの印刷では、にじみが出ない。アクリルスプレーをかけると、にじむときがある。

## 8 仕上げのコーティング

着色後、アクリルスプレー(透明)を吹き付ける。

吹きつけ前に紙やすりで表面を磨かない。アイのところの絵の具は取り除いておく。

吹きつけは、「下地づくり」と同じ手順で行う。

## 9 完成後の浮沈テスト

完成後に再度、浮沈テストを行った。下地づくり完成後の浮沈テストで合格したもの(フック等を付けないうと浮き、付けると沈む製品)の中に、フック等を付けなくても沈むものが出てきた。アクリル絵の具、コーティングの透明アクリルの重さが影響したようだ。透明アクリル、アクリル絵の具は水より比重が大きいということであり、僅かな重さの違いで浮き沈みが変わる。

この重さは僅かであるから、今後の浮沈テストはブランク成形後のみとする。

## 10 「しずく」の強度

マスが5～6尾釣れると、フックアイのところが欠けてしまう。爪マニキュアのトップコート(100円ショップで購入可能)で補修する。強度を取るために、下地にセルロースセメントをどぶ漬けしたり、トップコートにウレタンクリアを塗ったりするという方法がある。要検討である。

## 11 おわりに

とりあえず30個の量産が終わりました。課題の一つに「目」があります。レーザープリンタを使うか、インクジェットプリンタを使うか検討する必要があります。穴開けパンチで「目」を切り抜きますが、穴開けパンチの切れ味も気になっています。「しずく」の強度も課題の一つです。

今後、作りたいものを列挙します。

餌撒き時に使う「しずく」	現行より沈下速度が速いもの
ボトムバンプで使う「しずく」	沈下速度が更に速いもの
トップで使う「しずく」	フローティング。竿を引くとリップによりスプラッシュがおきるもの リップの付ける位置と角度の研究
スローシンキングの「しずく」	リップを付けると更に沈下速度が遅くなる。 リップの付ける位置と角度の研究